

水問題

西条市の回答

平成27年 8月 愛媛県からの六つの提案

- 西条・松山両市の水問題(※)を一緒に解決する
- 西条の水文化を将来にわたるり守るため県営黒瀬ダムの具体的活用方策を検討する
- 黒瀬ダムの水を両市で使用する場合は、渇水時の西条市優先をルール化する
- 松山市は平常時、黒瀬ダムからの取水を抑制する
- 松山市も水源涵養のため黒瀬ダム上流で森林整備する
- 両市が共に発展するため、市民、産業・経済界などの交流・連携を推進する

※西条市：地下水の塩水化、松山市：恒常水源の確保

西条市からの回答

1 西条の地下水にも課題がある

- 月間降雨量の差の拡大・森林荒廃などに伴う河川流量の低下
 - 過剰揚水に伴う地下水位や自噴量の低下
 - 塩水化の進行や、硝酸態窒素濃度の高まり
- 平成17年の渇水時の新町川(総合福祉センター前) ▶



2 黒瀬ダムの本来の目的は西条・東予圏域の発展

「この地域が発展するのであれば」と、ダム建設のために立ち退いた黒瀬地区の住民の思いをないがしろにはできない。

水没前の黒瀬村。300人余りが地域発展のために故郷を離れた▶



3 分水につながるものと考えられるため応じることは困難

西条市地下水保全協議会では「分水する提案は容易には受け入れられない」と協議結果の意見書を提出。西条市議会でも「分水につ

ながる提案には応じない」と「『水の都』西条の水を守る決議」を可決した。「地下水シンポジウム」でも多くの市民の関心が伺えた。



◀(左から)意見書を渡す川勝健志協議会会長。市議会では全会一致で決議が可決。シンポジウムには約300人が参加

4 西条市民は、できることから保全のための取り組みを

西条市では、市民・事業者・行政が一丸となって、地下水保全のために取り組む。

5 それでも足りなければ県への協力依頼も必要

黒瀬ダムや加茂川の河川管理者である県へ、協力・調整をお願いする場合もある。

6 松山市への支援策を確立

緊急時に助け合うのは同じ県民として当然のこと。松山市が渇水などの危機に陥った際の支援・協力は惜しまない。新たな支援策の締結などにより、松山市の不安を解消する。

平成6年の渇水時の松山市などへの救援水▶



3月28日、愛媛県からの「西条と松山の水問題に対する六つの提案」への回答を行いました。分水につながるこの提案には応じられない、松山市が異常渇水に陥った場合の新たな支援策の提案を行いたいなどの内容を盛り込んでいます。地域の水をみんなで守るために、まず、現状を把握しましょう。

これからが本番！
市民みんなでやらないかん

今回の回答は、西条の水問題のゴールではなくスタート。水環境の悪化は、生活に影響を及ぼす深刻な問題です。解決には、現状を知り、どこに問題があり、今後どう対応すべきか、市民みんなで考え、行動することが重要です。市では、情報提供や意見を聞くための場として、出前講座などを行います。自分事として積極的に参加してください。限られた資源の地下水を守り、次世代に引き継いでいくために、みんなが一丸となって行動を起こすのは今です。

回答の全文や、玉井市長のメッセージ動画は市ホームページで閲覧できます。



問合せ

市庁舎新館2階 環境課
Tel 089715211382